

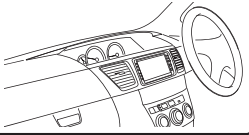
注意と警告

- 本製品は、道路運送車両の保安基準に抵触しないよう以下の場所には絶対に取付けないでください。
- ※運転者前方視界の妨げになる場所。
(詳しくは、当社HPの前方視界基準の説明ページをご確認ください。https://www.seikosangyo.co.jp/exea/frontv/))
- ※突起物として危険を生じる場所(特にチャイルドシートの正面)。
- ※万一落下した場合に運転者の操作の妨げになる場所。
- ※安全装置(エアバッグ・シートベルト等)の作動・効果を妨げる場所やステアリング付近。
- お車の形状や素材により、取付けできない場合があります。
- 必ず、機器を収納する前に、本製品の取付け状態を確認してからご使用ください。
- 本製品が周辺と干渉の可能性がある場合は使用しないでください。
- 収納する機器の形状によって安定したホルダーがでない場合は使用しないでください。
- スマートフォンにカバーやケースなど装着している場合、機器が不安定になり落下の恐れがあります。
- 外すなどして、ご使用になる機器が安定することを必ず確認のうえ、ご使用ください。
- 本製品は下図の向きの上から、または横向きで使用可能です。上下を逆さまにして使用はできません。
- スマホの重量に耐えられず、落下する危険があるのでおやめください。
- 運転中に本製品やご使用になる機器の操作は大変危険ですのでおやめください。
- 必ず車を安全な場所へ停車させてから接続・操作等を行ってください。
- 走行中の激しい振動により、ご使用になる機器が落下する場合があります。
- 不整地や路面の悪い道路を走行する場合は、本製品の使用を中止してください。
- 収納物が落下し、事故につながる危険があります。
- 急発進・急ハンドル・急停止でも、収納物が落下する恐れがありますので充分ご注意ください。
- 収納物は振動や出入れでキズつく恐れがあります。キズつけないものは入れないでください。
- 直射日光や高温になる場所でのご使用は、本製品及び車両側や接続機器の故障、破損の原因となります。
- 炎天下の車内でご使用になる機器を放置しないでください。
- 熱による製品本体、ご使用になる機器が、変形・破損・故障の恐れがありますのでご注意ください。
- 本製品、並びに収納物を取付ける際、ご使用中の落下、車両側に使用前との差異が生じた場合の損害(破損・キズ・変色・跡等)は、当社では責任・補償を負いかねます。
- 本製品は自動車専用です。他の用途にはご使用にできません。
- 本製品に因る取付けた機器の破損・消失(ご使用になる機器のメモリー・データ)に関して、当社では責任を負いかねます。
- 必ずバックアップデータを記録するように心掛けてください。
- 本台紙記載のご注意に反しない場合や、誤った取付け・分解・改造をされた際の事故・故障・損害につきましては、当社では一切その責任を負いかねます。

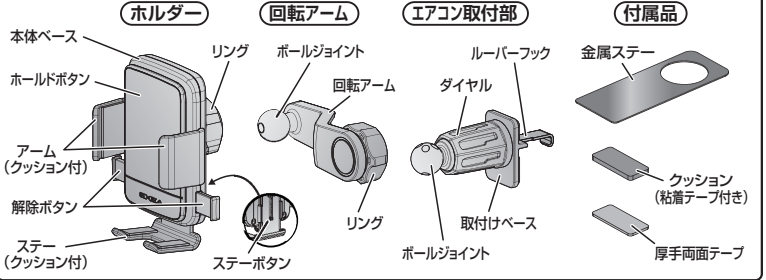


取付け前に

- 取付け作業は、必ずお車を停止させ、エンジンを切った状態で行ってください。
- 収納する機器の大きさに合わせて位置を調整し、設置場所のシミュレーションと取付け場所の清掃を必ず行ってください。
- 本製品は以下の場所に取付けることができません。
- ※天井などの上に向けている吹出口や、ほこり・油分等のある場所・段差・繊維等は脱落の恐れがありますので取付けできません。
- ※軽年車の場合は、取付け場所の劣化や変質による破損や脱落の恐れがありますので取付けできません。
- エアコン吹出口への取付け条件は、下記の図解説明をご覧ください。
- ※吹出口周辺の形状や素材によっては取付けできない場合があります。
- ※下記以外でも取付けできない場合がありますのでご注意ください。
- 本製品を取付け・取外しの際に、エアコン吹き出口やルーバー等の破損やキズをつけないよう十分に注意して作業してください。



部品一覧と名称



製品説明と取付け位置について

1. 製品の可動・収納・取付け寸法について

- ホルダーの収納範囲
- 回転アームとダブルジョイント
- エアコン取付部

ホルダー
高さ: 62~86mm以内
厚さ: 13mm以内
耐荷重: 300g

※ケースやストラップ等を含めた重さです。

2. エアコン吹出口について

取付けできるエアコン吹出口

丸形
横ルーバー 縦ルーバー
下記に該当する場合は取付けできません。

角形
横ルーバー 縦ルーバー

※吹出口周辺の形状によっては取付けできない場合があります。(下記参照)
※ルーバーのサイズ条件

ルーバーの間隔	取付け必要幅
7.5mm以上	9.5mm以上
ルーバーの厚さ	奥行き
5mm以下	10mm以上 30mm以下

- 丸形で、ルーバーが吹出口の開閉フタを兼用しているものは取付けできません。
- ※奥行きが深くなりクリップが届きません。
- 丸形で、ルーバー部分が回転する場合は取付けできません。
- ※不安定になり大変危険ですので、絶対におやめください。
- 取付けベースとルーバーフックに関する寸法(左図の寸法)が狭い場合には取付けできません場合があります。
- お車の形状や素材により、取付けできない場合があります。

※製品をまだ組立てないでください。エアコン取付部は、先にエアコン吹出口に取付ける必要があります。

エアコン吹出口への取付け

3. エアコン吹出口への取付け

- エアコン取付部のダイヤルを回して緩める。ボールジョイントの先端と一致する程度。(図-1)
- ※ダイヤルを緩めて押込むとルーバーフックを伸ばせます。(図-2)

- ダイヤルを持って、取付けるエアコンルーバーの上側にルーバーフックを入れ、そのままダイヤルを奥まで押しこみ、ルーバーフックの先端をルーバーに掛けます。(図-3, 4)
- ルーバーに掛かったら、ダイヤルを押すのをやめてルーバーフックを縮ませて、仮固定します。(図-5)

- ダイヤルを持って、押しこむ
- ルーバーの奥に先端を掛ける
- ルーバーフックを縮めて仮固定する

- 金属ステーとクッション/両面テープが、必要かどうか確認します。
- ダイヤルが前後しなくなるまで縮めて、ボールジョイントを指先で触って、グラつきがないかを確認します。(図-5, 6)

※あまり強く締め過ぎると吹出口やルーバーを破損する恐れがありますのでご注意ください。

※グラツいたり、左右に傾きやすい場合などは、強く締めるのではなく、取付け位置を変えたり、または付属品: 金属ステー、クッション/両面テープを必要に応じて使用して(次項◎参照)、固定状態をより安定させてください。

※必ずしも金属ステーの取付けは必要ではありません。

※お車のエアコン吹出口の形状などによっては金属ステーを取付けできない場合もあります。

- ダイヤルを回して締め込む
- ボールジョイントを指先で動かしてみる

◎. 金属ステーを使用する場合 (* 必要に応じてご使用ください。)

- 金属ステーを使用する場合は、一旦ダイヤルを最後まで緩めて取外します。(図-7)
- 取付けベースに、金属ステーの丸穴を通し、ダイヤルを戻して締め込み、固定します。(図-8)
- 都合の良い向きに調節してご使用ください。また、エアコン吹出口周囲の形状に合わせて曲げてもご使用できます。(図-8, 9)
- ※曲げる際、丸穴付近は曲がりやすいのでご注意ください。
- お車に傷がつかない様にクッション/両面テープを金属ステーに貼付けてください。(図-9)
- ※屈曲はさせないでください。角が尖って危険です。

4. 製品の組立て【ホルダーと回転アーム】

- 次の手順でホルダーに回転アームを取付けます。
- ① ボール受けの内側にボールクッション(円形の軟質素材)が入っていることをご確認ください。(図-10)
- ※ 箱から取出す際に取外したリングを留意する。
- ② 回転アームのボールジョイントにリングを掛ける。(図-11)
- ③ ボール受けにボールジョイントを差し込む。(図-11)
- ④ 再びリングをボール受けのネジに取付けて締める。(図-12)
- ※ 後で調節するため、ホルダーと回転アームが動かせる程度に軽く締める。

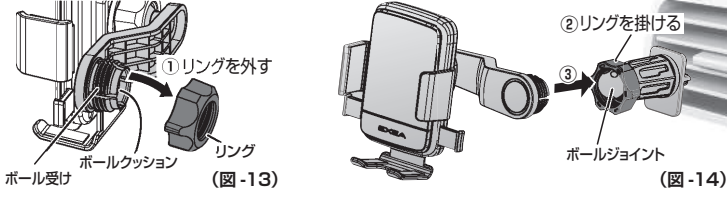
裏面につきます。

エアコン吹出口への取付け (つづき)

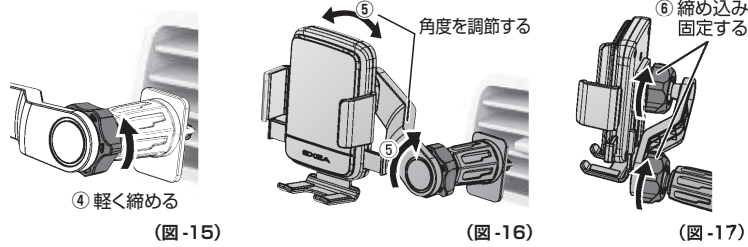
5. 製品の組立て (エアコン取付部とホルダー・回転アーム)、ホルダー位置の調節

●次の手順でエアコン取付部にホルダー/回転アームを取付けます。

- ① リングを回して外します。
ボール受けの内側にボールクッション (円形の軟質素材) が入っていることをご確認ください。(図-13)
- ② エアコン取付部のボールジョイントにリングを掛ける。(図-14)
- ③ ボールジョイントにボール受けを差し込む。(図-14)



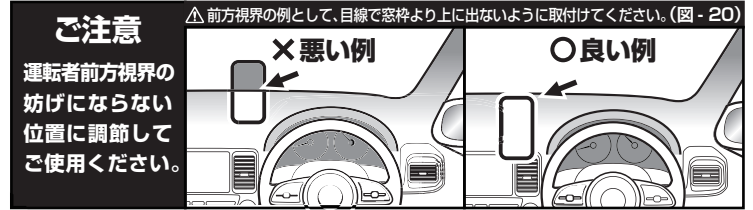
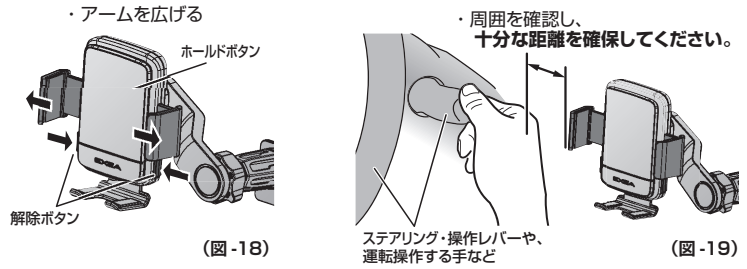
- ④ 再びリングをボール受けのネジに取付けて、動かせる程度に軽く締める。(図-15)
- ⑤ ホルダーと回転アームの角度を調節する。(図-16)
- ⑥ それぞれのリングをしっかり締め込み、固定する。(図-17)



6. 周囲との干渉の確認

●本製品を固定したら、左右の解除ボタンを同時に内側に押してアームを最大に開き、(図-18) 周囲に干渉しないこと、運転操作および、前方視界の妨げにならないことをご確認ください。(図-19, 20)

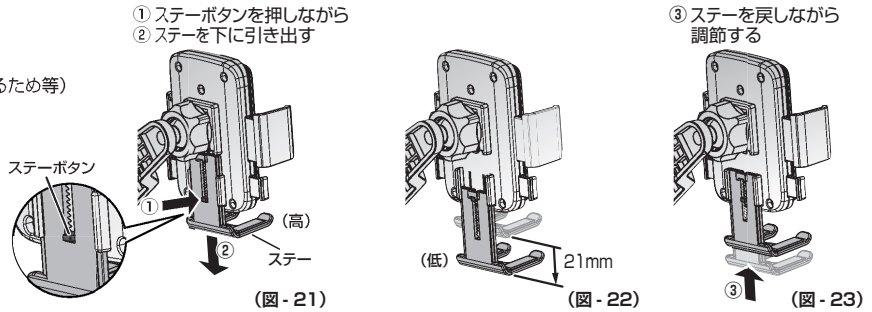
●干渉や妨げがある場合は、取付位置を変更してください。
※ホールドボタンを押すとアームが勢よく閉じますので、指を挟まないようご注意ください。
※必ずアームを閉じてから、取外し・取付け作業を行ってください。



7. ステーについて

●ステーは、スマートフォンとホルダーの上下位置を調節するときに使用します。
※必要に応じて調節してください。(スマートフォンのボタンを避けたり、バランスをとるため等)
※工場出荷時は、一番上 (高) になっています。

- ① ステーボタンを押しながら、
- ② ステーを一番下 (低) まで引出します。(最大 21mm 下がる) (図-21, 22)
- ※ 上に戻すときは、ステーボタンを押す必要はありません。
- ③ 丁度良い位置まで戻しながら調節してください。(図-23)
- ※ 段階的 (1.5mm 間隔) に固定できます。
- ※ 上げ過ぎてしまったら、再度ステーボタンを押しながら引出してください。

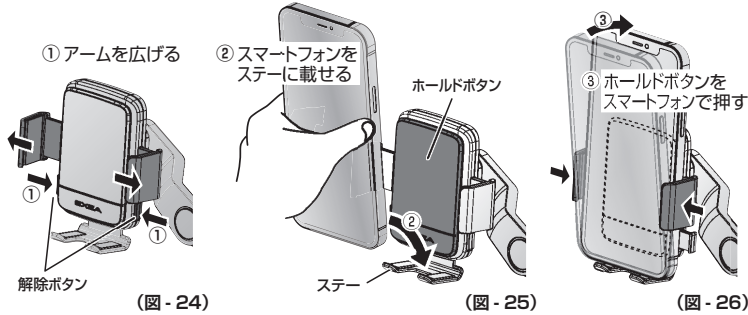


使用ついて【スマホの取付け・取外し】

8. 使用方法

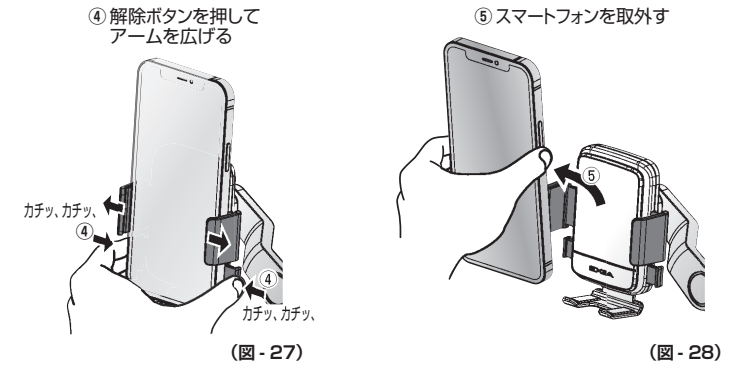
●スマートフォンをセットする

- ① 前項 6. と同様に、左右の解除ボタンを同時に内側に押してアームを開きます。(図-24)
- ※ ご使用になるスマートフォンの幅よりも、少し広く開けてください。
- ② ステーにスマートフォンを載せる。(図-25)
- ③ スマートフォンの背面でホールドボタンを押して、アームを閉じて固定する。(図-26)
- ※ 閉じるときにアームに指を挟まないようご注意ください。



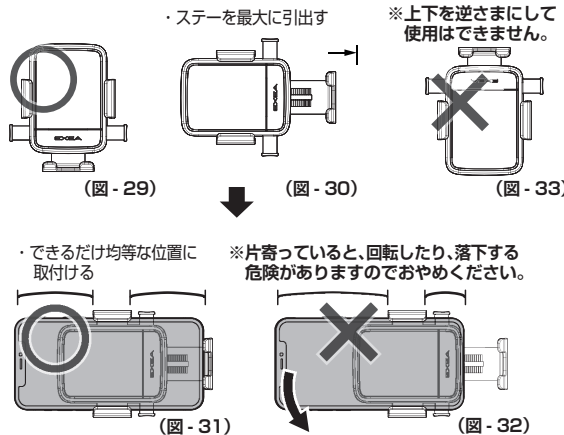
●スマートフォンを取外す

- ④ 左右の解除ボタンを同時に押して、スマートフォンが取外せる位置まで開きます。(図-27)
- ※ 片側 2 山ずつ (カチツ、カチツ) 程度 開くと取外せる隙間になります。(図-27)
- ⑤ スマートフォンを取外す。(図-28)



使用上の注意事項

- 本製品は、右図 (図-29) のように、スマートフォンを縦向きで使用することを前提としています。
- ホルダーを 90° 回転させて、スマートフォンを横向きでも使用可能ですが、その際は必ずステーを最大に引出してください。(図-30) また、できるだけスマートフォンをホルダーの均等な位置に取付けてください。(図-31)
- ※片寄った位置に取付けると、走行中の振動や不意に手が触れるなどの軽い衝撃でも回転したり、落下する恐れがあり、危険ですのでおやめください。(図-32)
- ※走行中の振動で、スレる可能性がありますのでご注意ください。
- 上下を逆さまにして使用はできません。(図-33)
- ※停車中にスマートフォンをホールド (保持) していても、走行中の振動で落下する危険があるので絶対におやめください。



●本製品は、エアコン取付部とホルダーが離れた位置にあり、取付けているルーバーに負荷が掛かり易い構造です。(図-34)

※必要以上に負担を掛けるルーバーを破損する恐れがありますので、ご注意ください。(図-35)

